

こころ

心



高知医療センター理念及び基本方針

理 念

医療の主人公は患者さん

基本方針

1. 患者さんから信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療を実践します
2. 地域医療連携を基本とした良質で高度な医療を提供します
3. 自治体病院としての使命を果たします
4. 職員が誇りとやりがいを持ち、成長できる病院にします
5. 公正で開かれた病院運営と健全な経営を目指します

CONTENTS

ナースのポケット

「～趣味♪ゴスペル♪を通して思うこと～」 — 3

診療科紹介

「産科」 — 4

薬剤局

「みかんとくすり
～薬と食品の飲み合わせPart2～」 — 6

医療技術局

「細菌検査とその役割について」 — 7

栄養局

「9階おだやかフロア」の栄養食事指導について — 8

協力企業紹介

「ワールドビジネスシスコム株式会社」 — 9

ドナルド・マクドナルド・ハウスこうちからの便利 — 10

ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち利用のご案内 — 11

外来診察予定表 — 13

よりよい車椅子生活をおくるために
～私の工夫～ — 17

私の趣味
「あなたは犬派？それとも猫派？」 — 18

院内行事 — 20

.....
高知医療センター理念及び基本方針 — 2

宝箱～患者さんの声と回答のご紹介～ — 12

表紙写真について — 12

分娩介助料の改定について — 16

特殊詐欺ご注意ください!! — 16

～趣味♪ゴスペル♪を通して思うこと～

看護局長 田鍋 雅子



“ゴスペル”を習い始めたとき友人に話すと、決まって「ゴスペラーズ？」(アカペラで歌うミュージシャン)と言われ(笑)、コンサートの案内をしても「ゴスペラーズが来るんだって。」と勘違いされたものでした。“ゴスペル”については映画『天使にラブソングを』(1992年)を観ていただけるとどんな音楽か分かると思います。今よりもっと知名度の低かったと思われる2003年、私は“ゴスペル”のレッスンに通い始めました。

当時は7歳と4歳の双子の3人の子どもの育児に奮闘しながら夜勤のある生活、何かを始めるのは無理かもしれないと半分諦めかけていた頃でした。男性メンバーが少ないということで、奇遇にも主人に声がかかり、主人が「代わりに行ってきたら？」と紹介してくれたのでした。1回の見学ですぐに入会しました。今では、コンサートがあると家族で出かけます。

レッスンは月2回、1回3時間半。レッスンに参加するために仕事も家事もやることはやっておきました。レッスンでは楽譜はありません(あってもきくと読めません)。発声や音程を一生懸命聴きとり唄います。とても集中するので、あれこれ考える余裕はありません。大きな声を出すので、ストレス発散にもなります。何より嬉しかったことは、レッスン中やステージで互いの息遣いや声を聴きながら唄うことで、普段から互いに気に掛け合うことができる仲間ができたことです。素人なので音は外れます。他の人の音を聴きながら自分の音を合わせたり、違う音を出したり…音符では1つの音のはずですが、耳に入る音はとても厚みがある音になります。ステージではその厚みのある音こそが、人びとのところに伝わり、感動につながるという体験を何度も経験しました。

レッスンは8年ほど続け、今は休んでいる状態ですが、よく思い出すのは、先生が「色鉛筆はいろいろあるからいい。ここには音程はないから、いろいろな色や音があるのがいい。」と言われていたことと、唄うときは皆で“想いを1枚の絵のようにして伝える”ことです。部署の責任者を任された

とき、まずこれらの言葉が浮かびました。任された部署の看護師みんなで患者さんに伝える“看護”という1枚の絵を描きたい!!、と思いました。部署には30名程の看護師がいます。その一人ひとりに“色”＝“もち味”があって、色鉛筆に例えると先がピンとがっている状態の時や磨り減ってまあるくなっている時もあります。“色”だって一人の看護師がずっと同じではないかもしれません。経験や看護観などで変わるでしょう。細い線、まあるくやさしい線、濃い色、明るい色、いろんな色ととがり具合を駆使しないとよい絵(看護)は仕上がりにません。ピンとがった先は痛いかもしれませんが、細かい部分まできちんと描くことができます。先がまあるい色鉛筆は雰囲気のある線も出ますが、そのうち削って調整する必要があります。スタッフの色と状態をよく見て、支援し、1枚の絵になるようまとめるのは責任者の仕事だと思います。

看護は人と人との間で展開されます。レッスンの再開の目処は立っていませんが、人と関わる仕事だからこそ、いろんな人に出会い感性を高め、自分を豊かにすることを通して、人としての幅を広げたいと思っています。職員にも良い意味でいろんな経験をしてもらい、自分の生活も仕事も大切にでき、患者さんを大切にできる組織づくりを目指したいと思う今日この頃です。



産科

総合周産期母子医療センター長兼産科長 林 和俊

当院の産婦人科所属医師は10名（平成28年2月1日現在）です。産婦人科は診療対象別に、妊産婦さん、産後の方、胎児を診る「産科」、月経異常、子宮筋腫や卵巣嚢腫、子宮頸がんや卵巣がんを診る「婦人科」、不妊の検査、治療を行う「生殖医療科」に分けていますが、我々10名はそれぞれいずれかに軸足を置きながら産婦人科診療に携わっています。その中の産科がどのような診療を担当しているかを今回はご紹介いたします。

当院は総合周産期母子医療センターの役割を担っています。総合周産期母子医療センターとは、

よりリスクの高い妊娠・分娩を産科が担当し、その後、出生した、よりリスクの高い赤ちゃんを小児科、小児外科がみることが出来る施設です。もちろん、リスクに対応するためには専門的知識をもった内科医の助けが必要だったり、帝王切開や新生児手術には専門知識とハイレベルな技術をもった麻酔科医の存在が不可欠だったりします。そのような多科の協力のなかで当院の妊娠・出産は支えられています。また、緊急事態に対応できる助産師、看護師、検査技師、手術室スタッフの方々の協力も重要です。

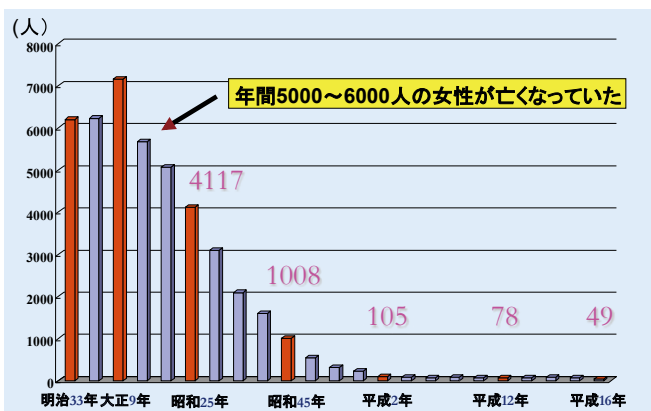


図1 日本の妊産婦死亡数の推移

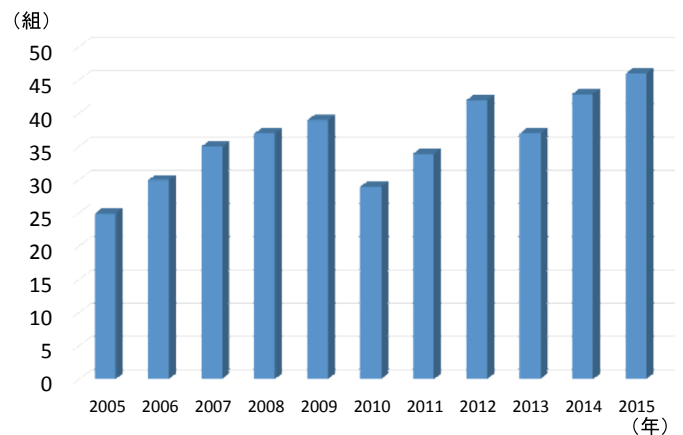


図3 多胎妊娠の推移

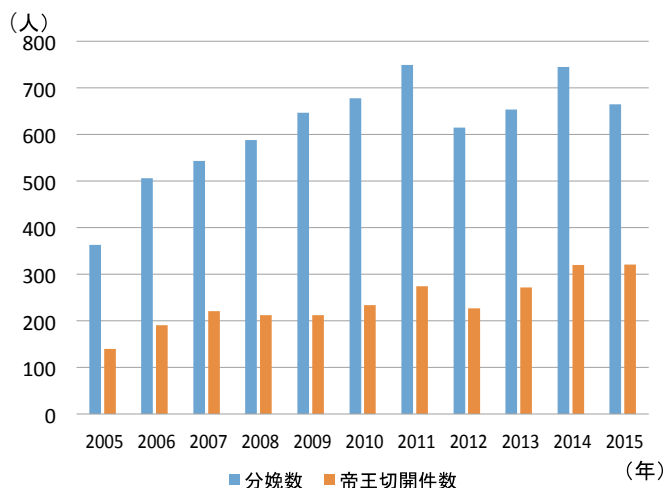


図2 分娩数と帝王切開数の推移

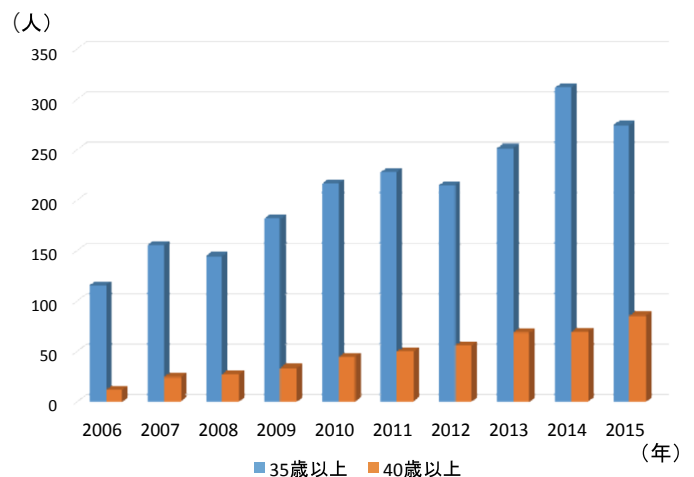


図4 高齢出産数の推移

日本のお産の半分は個人の産科診療所で診られています。そして残り半分のお産が病院です。その病院であっても、より沢山のスタッフがいる当院のような産科施設がなぜ必要なのでしょう。まず、妊娠、分娩について考えてみましょう。よく自然分娩という言葉を目にします。「自然分娩で産みたいです」誰もが願う母子ともに安全なお産を自然分娩という風に思われているのだと思います。自然食品というように「自然イコール安全」ということも良く理解できますが、一方で異常気象や大地震にみるように「自然とは、人智を超えた恐ろしい振る舞いをするものである」ということもまた、どなたでも納得されると思います。図1に、明治時代から平成までの妊産婦死亡数を示します。不安になるようなデータですが、ご覧ください。明治、大正時代、すなわち、ほとんどの出産を自宅で産婆さんが扱っていた時代は年間5000～6000人ものお母さんが亡くなっていたのです。最近の年間交通事故死者数（平成26年：4113人）よりも多かったのです。その後、産科医療、麻酔法、医療機器それぞれの進歩があり、妊産婦死亡は劇的に減少しました。残念ながら、平成になっても年間40～50人のお母さんが妊娠、分娩で命を亡くし決してゼロではありません。ある統計では妊産婦250人にひとりが生命の危機に陥るようです。それが妊娠・分娩が本来、持つ「自然」なリスクなのだとは私は先輩に教わりました。また、妊婦さん全員の赤ちゃんが3000g前後に育ち、妊娠10か月まで子宮の中にいるという正常な経過を辿るという保証もないのです。日本の早産率は約5%で世界的に最も低いのですが、当院のような周産期センターでの出産は約18%が早産で、1000gにも満たない赤ちゃんが年間15名ほど出生しています。つまり、妊娠・分娩では皆さんが予期しない色々なことが起こるということです。産科診療所でも助産所でも、そのリスクを早期発見したり、回避する努力をしたりしながら、新しく誕生する命は守られているのです。

最近、数年の産科診療に関するデータの一部を図2～4に示します。当院での出産数は徐々に増加し、双子以上の多胎妊娠、高齢妊娠などハイリスク妊娠が増加しています。それとともに帝王切開の件数も増加しています。当院産科の役割は、産科診療所の先生方の適切な判断で紹介されるハイ

リスクと考えられる妊婦さんを、妊娠初期から出産時まで、いつの時期であっても受け入れることです。その役割を果たすため、昨年は病床数を増床しています。また、「高知県の早産防止対策」（全員に妊娠初期の帯下検査、子宮頸管長測定を統一化）をうけて、当院には早産のハイリスクの妊婦さんたちがたくさん紹介されてきます。また、超音波検査機器の進歩、産婦人科医の超音波診断技術の向上もあり、先天的な問題が疑われる胎児も紹介されます。当院では、そのような色々な問題、不安を抱えた妊婦さんたちを数多く担当しています。また、高知県の分娩施設の減少、妊娠出産への関心の高まりからローリスクであっても妊婦さんのご希望があれば当院で診させていただくこととしていきますので、ご遠慮なくご相談ください。

昨今の少子・高齢化社会では、ご承知のように、初回妊娠年齢の高齢化も顕著です。社会的な事情も背景にあり、意図せず高齢妊娠が増加しているのです。女性の高齢化は自然な妊娠率を減少させますので当然、体外受精妊娠が増加してきます。現在、出生児27人に1人が体外受精による妊娠、出生です（2012年データ）。少子化が進む中でのデータですので、分母が減り、分子が増えると割合はますます上昇してくるでしょう。今後の人口減少をわずかながらでも抑制するために、体外受精は、今や人類の存亡を懸けた必要不可欠な技術なのです。今日までの技術進歩により、体外受精の妊娠率もかなり向上し、先天異常の発生率も自然妊娠と差がないとされてきました。しかしながら、2016年1月に報告された体外受精妊娠（16万人）を調査した論文で、体外受精は自然妊娠（22万人）より種々の産科合併症発症（前置胎盤、胎盤早期剥離、妊娠高血圧症、羊水異常、産後出血など）のリスクが高いことが明らかにされています。現代において、体外受精妊娠を否定することはできませんが、高齢妊娠や体外受精妊娠で起こる様々なリスク、母体合併症による妊娠のリスク、そして更に、母体生命や胎児生命を脅かすような妊娠本来のもつリスクを承知し、回避する努力をしながら、高知県の周産期医療の要たる産科として、その役割を果たしていきたいと思っています。（産科で扱っている疾患や最近関心が高まっている出生前診断についての詳細は当院ホームページをご覧ください）

みかんとくすり ～薬と食品の飲み合わせ Part2～

薬剤局 岡崎 弘志



皆さん、みかんは好きですか？高知県と言えば、山北みかん、ぶんたん、小夏など有名ですね。小さい頃に、おばあちゃんから「風邪をひかないようにみかんをいっぱい食べるといかんよ」って言われたものです。子どもの頃みかんといえば、温州みかんのことでしたが、大人になるとみかんから連想するものもぼんかん、小夏、ぶんたん、オレンジ、グレープフルーツ、ゆず、レモンなどなど種類が増えました。

最近、近所のおじさんに薬局で「薬をもらったら、おくすりの説明の中にグレープフルーツと一緒に飲まないようにと書いていたけど、グレープフルーツって何ぜよ？他のみかんとはえいがかよ？」と、聞かれました。わからない方もおいでと思うので、この紙面で説明しようと思います。

1, グレープフルーツって何？

グレープフルーツは亜熱帯を産地とする柑桔類です。ビタミンCを豊富に含んでおり、果実が枝にブドウ（グレープ）のような房状につくことから「グレープフルーツ」という名前がつけられたそうです。

2, グレープフルーツと薬を一緒に飲むとどうなるの？

体の中での薬の分解が邪魔され、血液中の薬の濃度が高くなり、薬の作用や副作用が強くなる場合があります。効き目が強く出ればよいのではないかと思います。効き目が強くなるかもしれませんが、実際には副作用が強くなるのが心配されています。

3, どうしてそのようなことがおこるの？

薬を体の中で分解する時には、酵素の力を使って分解する事があります。グレープフルーツに含まれる天然フラボノイド成分は、肝臓や小腸粘膜に存在する薬を代謝する酵素（チトクローム P450）の力をじゃまするため、薬が分解されにくくなり体の中に長く残るからだと考えられています。

4, どんな薬を飲むときに注意が必要？

代表的なものとして高血圧の治療薬のカルシウム拮抗薬、アレルギー疾患を治療したり、臓器移植後に服用する免疫抑制剤、コレステロールや中性脂肪を下げる脂質異常症治療薬、一部の抗がん剤などがあります（表1）。

高血圧治療薬 カルシウム拮抗薬	アダラート錠（ニフェジピン）
	カルブロック錠（アゼルニジピン）
	コニール錠（ベニジピン）
	アテレック錠（シルニジピン）
免疫抑制剤	ネオオラル（シクロスポリン）
	プログラフ（タクロリムス）
	サンディミュン（シクロスポリン）
脂質異常症治療薬	リビトール（アトルバスタチン）
抗がん剤	※注射：トボテシン（イリノテカン）
	イレッサ（ゲフィチニブ）
	タルセバ（エルロチニブ）

表1 ※代表薬剤を一部示しています。詳しくはお近くの薬剤師まで！

5, 同時に食べなければ大丈夫？

グレープフルーツの影響は、一般的に食べた24時間程度残るといわれています。グレープフルーツと服用した薬が飲み合わせの影響を受ける時間はそれぞれの薬によって異なりますが、長いものでは2～4日程度持続するものもあります。例えば、降圧薬のアダラート（ニフェジピン）は、血中濃度が約2倍になり、お薬の効果がそれだけ強くなるといわれています。したがって、グレープフルーツと飲み合わせの悪い薬を服用している間は、グレープフルーツは食べないようにしましょう。

6, グレープフルーツ以外は大丈夫なの？

フルーツやデザートは生活を豊かにしてくれ、食後の楽しみでもあります。薬と一緒に食べてよいフルーツもありますので参考にしてください。

× 摂取を控えるべき柑橘類

グレープフルーツ、スウィーティー、ばんべいゆ 晩白柚、だいたい、ぶんたん、はっさく、夏みかん

○ 摂取してもよい柑橘類

温州みかん、ぼんかん、いよかん、デコポン、ゆず、かぼす、すだち、きんかん、ネーブルオレンジ

△ 皮を除けば摂取してよい柑橘類

レモン、日向夏（小夏）、スウィートオレンジ

薬と食品の飲み合わせは時に副作用を強く出してしまふことがあります。今回紹介した薬を代謝する酵素（チトクローム P450）は、食品だけでなく薬と薬の飲み合わせにも関係してきます。薬と薬の飲み合わせはさらに危険なので、そのような薬物相互作用をしっかり確認し、患者さんに安心して薬物治療を受けていただくことも薬剤師の役割の一つです。当院では、各病棟に薬剤師を配置していますので、何か気になることがございましたらお気軽にご相談ください。

細菌検査とその役割について

株式会社エスアールエル 上平 哲矢

細菌検査は、感染が疑われる患者さんの喀痰や尿、便などの検査材料（検体）から感染の原因菌を見つけ出し、さらにどの薬（抗菌薬）が有効かを調べる検査です。細菌検査室のもうひとつの重要な役割として、院内感染対策チーム（ICT）としての活動があります。

細菌検査の内容について

細菌検査は、大きく分類すると、塗抹検査（顕微鏡検査）、培養検査、同定検査、薬剤感受性検査からなります。

●塗抹検査

患者さんから採取した検体を顕微鏡で観察する検査で、細菌の有無を確認するために特殊な液（染色液）で色をつけ、染色液で染まった細菌の色や形から、大まかに菌の分類を行い判断します。

●培養検査

患者さんから採取した検体を培地（図1 血液寒天培地）の上に塗り（図2 分離培養の作業）、細菌をふ卵器で発育させることを培養といいます。培養にて菌を発育させ起病菌を探します。（図3 血液寒天培地で発育した菌）食中毒の原因菌であるサルモネラ菌などもこの培養検査で判定しています。

●同定検査

培養検査で発育させた菌を使用していろいろな検査をし、その菌種が既知のどの菌に一致するかを決めることを同定といいます。菌の同定には、自動検査機器（図4 自動同定感受性測定装置）も用いています。

●薬剤感受性検査

ある一定濃度下で細菌が発育するかどうかを調べ、感受性（薬が効果がある）か耐性（薬が効果がない）かを調べることが薬剤感受性検査です。薬が効きにくい菌（耐性菌）の代表的なものにMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）があります。

院内感染対策チーム（ICT）としての役割

「院内感染対策チーム（ICT：Infection Control Team）」の活動とは、患者さんや来院される方々、医療スタッフを感染から保護することです。細菌検査室は、病院全体と院内感染防止活動に取り組んでおります。感染対策をすすめるために知識を深め、技術の向上を目的として、「感染対策センター」、「医療関連感染対策委員会」、「院内感染対策チーム」が設置されています。

「院内感染対策チーム」は、医療局、看護局、薬剤局、医療技術局、栄養局、事務局、委託業者を含む多くの関係部署の職員で構成されています。細菌検査室は細菌検査の異常を最初に気付く部門として重要な役割を担っています。さらに「医療関連感染対策委員会」で決定した感染対策の内容について、院内をラウンドして臨床で効果的に実践されているかを確認し、推進する活動を行っています。

※当院では平成26年4月より、ICTをICS（Infection Control Staff）と改変して、現在活動を行っています。

最後に

細菌検査室は、MRSAなどの多剤耐性菌の発生状況や病原菌の発生状況について集計を行い、「院内感染対策チーム」や「医療関連感染対策委員会」に報告し連携を図っております。感染症の原因の解明と治療、感染対策などにおいて細菌検査室の果たす役割はますます大きくなります。今後も医師、看護師、薬剤師、その他全ての医療スタッフが密に情報を共有し、病院や患者さんに役立つ細菌検査および院内感染対策に取り組み、患者さんの治療の向上につながるよう努めてまいります。



図1



図2



図3



図4

「Q階おだやかフロア」の栄養食事指導について

管理栄養士 小谷 小枝

おだやかフロアは、循環器病センター（循環器内科・心臓血管外科）、腎臓内科・膠原病科、眼科が主な診療科です。ほとんどの方が慢性疾患であることから、食事・栄養管理は、食塩相当量6g未満の減塩食を提供することが多いこと、食事療法の必要がある患者さんが多数のため、栄養指導件数が多いことが特徴です。

減塩食は、血压管理や浮腫（むくみ）の改善のためには必須で、1日3食の食事を6g未満の食塩（加工食品や様々な調味料の塩分も含む）で調理した食事です。入院してきた患者さんからは、減塩食より家の食事の方がずっと味が濃いか、塩辛いものばかり食べてきたことがよく分かるといった言葉も多く聞かれます。過去に健康診断時やかかりつけ医から食塩を控えるよう勧められてきている方が多いのですが、実際食べてみることで普段の食事との比較ができ、減塩の必要性を実感されています。一方で、習慣的に自宅で味付けの濃い食事を取っている患者さんからは、病院食を食べて「薄い」「まずい」といった意見もあります。入院中にできるだけ薄味に慣れてもらい、家庭での減塩につなげるために、栄養指導では具体的な改善方法をアドバイスさせていただいています。



栄養指導は、短期の検査入院の方から術後の長期入院の方まで、医師の指示の下、対象の皆さんにできるだけ受けていただけるようにしています。生活習慣の聞き取りから、自宅での問題のある習慣に気づき、患者さん自身で改善すべき行動の目標を設定していただくことを目的としています。患者さん一人一人皆違う生活習慣があり、ご家庭では普通と思っていることでも、ある栄養素が過剰摂取になっていたり、病気の悪化の原因になっている場合があります。そのため、病状やこれまでの食習慣、今後の希望などを考慮した栄養指導を心がけています。必要な方には、退院後も外来で栄養指導を継続します。

循環器病センターの心臓リハビリテーションに参加されている患者さんを対象とした、集団指導も行っています。曜日ごとに各職種が担当してお話をしていますが、管理栄養士は毎週月曜日の担当です。減塩や体重管理の話を中心に、再発リスクを減らす食習慣のポイントについてお話ししています。

心疾患や腎疾患のような慢性疾患の患者さんは、入院中にすっかり完治して、退院後は何も気にせず生活できるわけではありません。退院後悪化を予防するには、ご家庭での食生活がとても重要になります。栄養指導のご希望や、質問などお気軽にお声かけください。



心臓リハビリテーション集団指導の様子

WBSC ワールドビジネスシスコム株式会社

システム事業部
医療システムグループ

この度は、企業紹介という場を設けていただきありがとうございます。簡単ではありますがこの場をお借りしご紹介させていただきます。

弊社の医療システムグループは、高知医療センター様の運用管理業務をはじめ、メーカー様と共同で、電子カルテシステムの導入支援、電子カルテシステムのレベルアップ作業を行っております。

近年は、医療機関を取り巻く環境において、多種多様な「医療情報システム」が導入され、また、「インターネットの普及、日々変化するコンピュータ技術」により、その仕組みは複雑になっています。

現在、高知医療センター様の医療情報センターにて、電子カルテシステムを中心とする統合情報システム (IIMS) の運用管理業務を行っております。

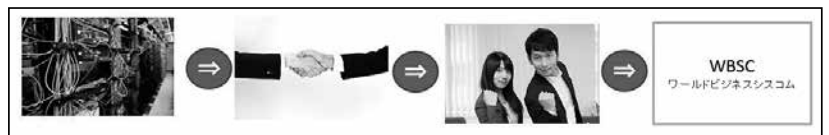
弊社は、高知医療センター様に常駐し、医療情報システムの運用管理業務において、医療スタッフ様からの統合情報システム (IIMS) への問合せ、要望や障害 (ハードウェア・ソフトウェア) によるメーカー様との調整などを行っております。日夜良質で高度な医療を提供されている医療スタッフ様の一助となるべく、このような日々の業務を安定かつ円滑に行うことで、システム運用管理業務を通じてご支援させていただいております。

また、弊社では MeTS (Medical information Technical Support の略。病院で稼働している医療情報システムを弊社の技術者が常駐して運用・管理する業務委託サービスの名称です。) や、ワールドビジネスグループであるワールドビジネスセンター株式会社のパッケージ販売も行っており、高齢化や少子化が進む地域社会で ICT を利活用したシステム設計、ソフトウェア開発、ネットワーク構築から運用管理まで、幅広い分野での弊社の役割を果たしていきたいと考えております。

最後になりますが、弊社は設立以来「和を以て誠実に努力する」を基本理念としています。単なる技術者の集団ではなく、常にお客様と目線を同じくし、お客様に寄り添ったサービスを提供する事を考え、情報産業を通じて、多くのお客様に対し、高い満足を与える高品質な商品・サービスの提供を行い、「従業員の幸福」、「人材の育成」、「社会貢献」を経営方針に掲げ、事業規模拡大と永続的に発展する企業を目指し、信頼を得られるよう何事にも和をもって誠実に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



医療情報システムの運用・管理を総合的に支援します。



MeTS (Medical information Technical Support) とは病院で稼働している医療情報システムを当社の技術者が常駐して運用、管理する業務委託サービスの名称です。





ドナルド・マクドナルド・ ハウスこうちからの お便り

♡♡♡♡ こうちハウスを利用したご家族からのメッセージをご紹介します ♡♡♡♡

病院のすぐそばにあると思うだけで…

もうすぐ2歳になる次男が急に入院することになりました。まだ小さいので、24時間付き添いが必要です。でも、家には5歳の長男とまだ2カ月になっていない生まれたばかりの長女。急な出来事に主人も私も戸惑いました。日中は主人も仕事があるので私が付き添い、夜に交代して主人が病室に泊まる、朝には交代…その繰り返しの毎日でした。日中は、長男は保育園に、長女はミルクに切り替えて母に預けて、、、色んな人に助けられました。入院中の次男もしんどいため夜中に何度も泣いて主人は全く眠れず、私も長女の授乳などで、ぐっすり眠ることはありませんでした。

3人とも同じ我が子。みんな大切に、みんな平等だけど…
今一番心配なのは入院中の次男。
今一番世話をしなくちゃいけないのは2カ月の長女。
今いちばん寂しい思いをさせているのは5歳の長男。
身体が3つあれば、どんなに心も楽だろうか。
せめて2つあれば、家と病院にいられるのに…。



そんな思いを助けてくれたのが、こうちハウスでした。
やっと1週間乗り切って、次男も元気になってきたので、夜付き添っていた主人に少しでもゆっくり寝てもらいたいと思い、また寂しい思いをさせている長男、長女とも遊ぶ時間を取るために、こうちハウスにお世話になることにしました。

授乳をするために次男の付き添いを主人と何度か交代しましたが、ハウスは24時間出入り自由だし、長女のためにベビーベッドまで用意してくださいました。遊具もたくさんあるので、長男ともゆっくり遊んであげることもできました。また、キッチンを使わせてもらい、久しぶりにお弁当やファーストフードではない食事を楽しむ事もできました。

身体はひとつしかないから、やっぱりどちらかにしかいられないけど、病院のすぐ近くで歩いて行ける距離というのは心が軽くなります。

病院の近くに、ハウスがある事を本当にありがたく思います。お陰様で、明日の検査結果がよければ退院できそうです。



■お申し込み・お問合せ先

ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち

〒781-0111高知県 高知市 池953-10

Tel:088-837-3650 (9:00-20:00)

e-mail dmh_kochi@yahoo.co.jp

http://www.dmhcj.or.jp

ドナルド・マクドナルド・ハウス とうち

利用のご案内

こうちハウス運営委員長
(高知医療センター病院長) 吉川 清志

ドナルド・マクドナルド・ハウスは病気のお子さん、妊婦さんと
そのご家族のための第二のわが家。
治療に付き添うご家族のための滞在施設です。



【ご利用について】

利用の条件は？

20歳未満のお子さんと、胎児の安全のために
妊婦さんが入院や通院のときに利用できます

誰が利用できるの？

患者さんに付き添う家族ならどなたでも
保護者と一緒なら患者さん本人やその兄弟も

指定の病院は？

高知県内の医療機関すべて

診療料は？

小児科に限らずどの診療科でも

利用料金は？

1人1日 1,000 円 (別途リネン代 216 円)
患者さん本人と未就学児は無料

利用手続きは？

貴院または受診医療機関で
滞在確認書^{*1}を記載していただき
ハウスに持参するのみ

【入院中の利用】

付き添い家族の宿泊や休憩に。
兄弟も一緒に家族全員で楽しい一時を。
妊婦さんのご主人やご家族もどうぞ。
NICUなどの退院前準備に。

《利用方法-例1-》

【外来受診の前泊や後泊】

夏休みや春休みの受診時に
家族で宿泊。
お近くの方でも受診の前後泊に。

《利用方法-例2-》

とてもきれいでリラックスでき
みなさん大満足！



お気軽に体験利用してみてください。



プレイルーム



自炊ができるキッチン



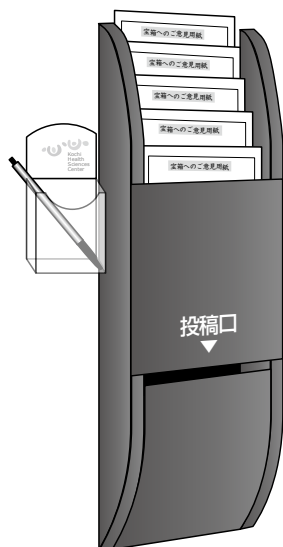
ランドリー

見学大歓迎!!
(いつでもOKです)

※1: 滞在確認書に関しては
左ページに記載の
ドナルド・マクドナルド・ハウス
こうちにお問合せください。

宝箱

～患者さんの声と回答のご紹介～



高知医療センターは、患者さんのご意見は宝物であると考え、各フロアにご意見をいただく宝箱を設置しています。

患者さんに安心、安全、快適に診療を受けていただけるよう、日々、努力を続けておりますので、気づかれた点は、いいこと、悪いこと、いずれも結構ですので、できるだけ具体的にお教えください。

いただきましたご意見やご要望に対しては、職員全員で共有、また真摯に対応させていただき、さらなる医療サービスと医療の質の向上に活かしていきたいと考えています。

患者さんの声

この度は大変お世話になりました。初めての入院生活で不安や寂しさで一杯の私でしたが、皆さんの温かい看護のおかげで元気になり無事に退院を迎えることができました。入院してから約3週間 ICU、HCU 一般病棟とさまざまなフロアで多くのスタッフの方にお世話になりました。栄養士の方、事務の方、配膳の方、清掃のスタッフの方など病院にはこんなにもいろいろな職種の方が働いていて私達をサポートしてくださっているのだなと改めて実感しました。中でも看護スタッフの皆さんには特別お世話になりました。入院生活を何とか乗り切ることができたのも皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

回答内容

ご意見ありがとうございます。
今後とも多職種が協働して一人ひとりの患者さんにより良い医療・サービスを提供し続けます。

患者さんの声

医療センターはいい病院だと思います！人を助ける仕事している皆さん素晴らしいです！

回答内容

ご意見ありがとうございます。
日々の忙しさの中でつい忘れてしまいそうな私たちの原点を認めていただきありがとうございます。明日からの仕事に頑張れる一言です。

表紙写真について



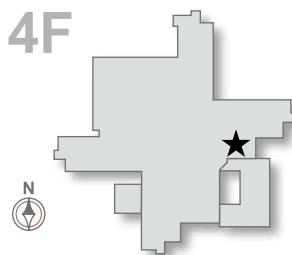
©TOWNART、大野 菜

EPISODE エピソード

作家：モーメント Moment

「ホープさん」の落とした本をイメージしたベンチです。
ページをめくってあそぶこともできます。
配色は高知を代表する織物、土佐つむぎをイメージしています。

4F



外来診察予定表

平成28年2月1日～

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合診療科	午前	澤田 努	石川 忠則 吉村 彰人	石川 忠則 伊東 秀樹	吉村 彰人	石川 忠則 澤田 努
	午後	石川 忠則 澤田 努	石川 忠則 吉村 彰人	澤田 努	石井 隆之 吉村 彰人 〈禁煙〉 医師交代※1	石川 忠則
緩和ケア内科	午前	原 一平	原 一平	原 一平	原 一平	原 一平
	午後					

※1 2月4日、2月25日

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
消化器内科	午前	山田 高義 根来 裕二	森下 佐織	山田 高義	森田 雅範 山崎 美樹	石川 紋子
	午後			西原 利治		
放射線療法科	午前	西岡 明人	西岡 明人	西岡 明人	森田 荘二郎	西岡 明人
腫瘍内科	午前	島田 安博	〈消化器内科〉 根来 裕二	島田 安博 〈消化器内科〉 根来 裕二	島田 安博	島田 安博 〈消化器内科〉 根来 裕二
	午後		〈消化器内科〉 根来 裕二	島田 安博 〈消化器内科〉 根来 裕二	島田 安博	
ペインクリニック科	午前	青野 寛	青野 寛 穴山 玲子	青野 寛 穴山 玲子	青野 寛 穴山 玲子	青野 寛 穴山 玲子
	午後	青野 寛		青野 寛	〈漢方外来〉 青野 寛	青野 寛
消化器外科・ 一般外科	午前	志摩 泰生 寺石 文則 福井 康雄	西岡 豊 尾崎 和秀	福井 康雄 志摩 泰生 古北 由仁	中村 敏夫 岡林 雄大 住吉 辰朗	渋谷 祐一 上月 章史
	午後	志摩 泰生 齋坂 雄一	中村 敏夫 徳丸 哲平	尾崎 和秀 藤原 聡史	西岡 豊 岡林 雄大 寺石 文則 伊達 慶一	大石 一行 森川 達也
乳腺・ 甲状腺外科	午前	高島 大典				高島 大典 大石 一行
	午後	高島 大典		大石 一行		高島 大典
移植外科	午前		渋谷 祐一	渋谷 祐一		

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
循環器内科	午前	尾原 義和 津田 由紀 〈不整脈〉 山本 克人	西本 美香 高木 航	山本 克人 福岡 陽子	宮地 剛	細木 信吾 古川 敦子
	午後	〈虚血外来〉※2 尾原 義和	〈検診精査〉※2 山本 克人	〈ペースメーカー〉 医師交代※6 〈検診精査〉※2 山本 克人	宮地 剛 山本 克人	細木 信吾※4 〈ペースメーカー〉 医師交代※6
心臓血管外科	午前	籾 厚	三宅 陽一郎 〈下肢静脈瘤〉 籾 厚	大上 賢祐	田中 哲文	
	午後		三宅 陽一郎※2			
呼吸器内科	午前	浦田 知之 尾崎 領彦	浦田 知之	中島 猛 尾崎 領彦	寺澤 優代	浦田 知之 中島 猛
	午後		中島 猛※4			
呼吸器外科	午前		岡本 卓 張 性洙 中野 貴之		岡本 卓 張 性洙 中野 貴之	
	午後		岡本 卓 中野 貴之		張 性洙	

※2 紹介患者さんのみ

※4 再診のみ

※6 第5週休診

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
血液内科・ 輸血科	午前	町田 拓哉	今井 利	浦田 知宏	今井 利 飛田 春那	町田 拓哉 岡 聡司
	午後					
糖尿病・ 内分泌内科	午前	菅野 尚※2	菅野 尚		菅野 尚	深田 順一※4
	午後			菅野 尚		
神経内科	午前		丸吉 夏英			奥宮 清人※3
	午後					丸吉 夏英
脳神経外科	午前	福田 真紀 太田 剛史				森本 雅徳 岡田 憲二
	午後			松岡 賢樹 政平 訓貴		森本 雅徳 岡田 憲二

※2 紹介患者さんのみ

※3 2月5日、2月19日のみ診察

※4 再診のみ

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
精神科	午前	<児童精神科> 泉本 雄司※4	医師交代※12 <児童精神科> 吉岡 知子※4	山下 元司	吉本 啓一郎※11 <児童精神科> 泉本 雄司※4	医師交代※7 <児童精神科> 吉岡 知子※4
	午後	山下 元司※4 <児童精神科> 泉本 雄司※5	<児童精神科> 吉岡 知子	下寺 信次	山下 元司※4 <児童精神科> 泉本 雄司	<児童精神科> 吉岡 知子※5

※4 再診のみ

※5 院内対診のみ

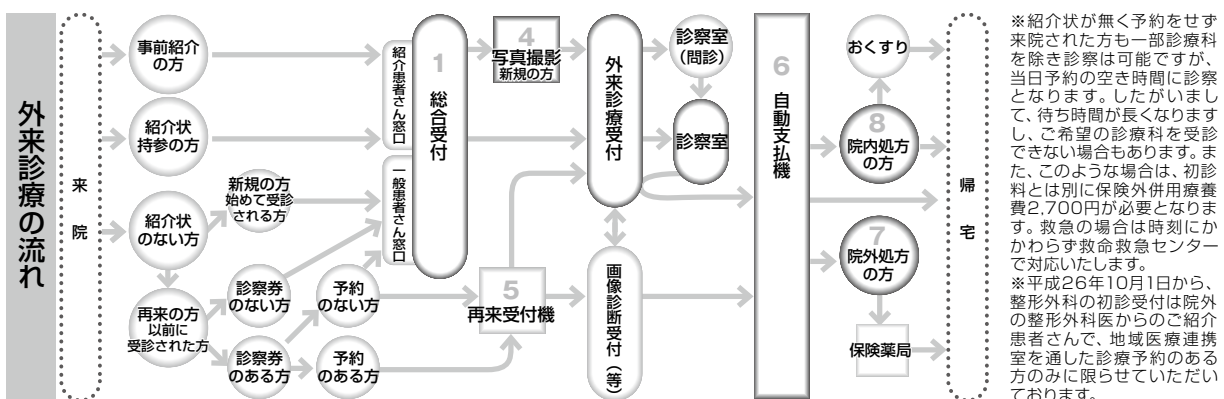
※7 2/5 山下 元司医師診察、2/12、2/26 森信 繁医師診察

※11 第5週は休診

※12 2/9、2/23 高村 祥吾医師診察、2/2、2/16 五十嵐 徹医師診察

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
腎臓内科・ 膠原病科	午前		土山 芳徳		土山 芳徳 出原 悠子	瀧上 慶一
	午後	瀧上 慶一				
泌尿器科	午前	小野 憲昭 神原 太樹	小野 憲昭 新 良治 神原 太樹		神原 太樹 新 良治 前原 貴典	小野 憲昭 新 良治 前原 貴典
	午後					

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
整形外科	午前	大森 貴夫	時岡 孝光	多田 圭太郎 <骨軟部腫瘍> 沼本 邦彦	林 隆宏 山本 次郎 <整形新患外来> 医師交代	沼本 邦彦 井上 智雄
	午後			栢元 佑大郎 <骨折> <脊椎> 時岡 孝光	<骨折> 田村 竜	田所 佑都
形成外科	午前	五石 圭一	原田 浩史	毛山 剛	五石 圭一	原田 浩史
	午後				毛山 剛	原田 浩史
皮膚科	午前	高野 浩章 中須賀 彩香	高野 浩章 中須賀 彩香	高野 浩章 中須賀 彩香	高野 浩章 中須賀 彩香	高野 浩章 中須賀 彩香
	午後			<光線治療> 高野 浩章		



診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
眼科	午前	大庭 啓介 福島 敦樹	大庭 啓介 〈斜視・弱視〉 市川 理恵※2	大庭 啓介 林 勇樹	大庭 啓介 林 勇樹	大庭 啓介 〈斜視・弱視〉 市川 理恵※2
	午後					
耳鼻咽喉科	午前	小桜 謙一 土井 彰		田村 耕三 小桜 謙一 福本 晶		田村 耕三 小桜 謙一 土井 彰
	午後					福本 晶
歯科口腔外科	午前	立本 行宏 立石 善久 原 慎吾 清水 基之 〈障害者歯科〉 福留 麗実	立本 行宏 原 慎吾 板敷 康隆 清水 基之 〈障害者歯科〉 福留 麗実	立石 善久 原 慎吾 板敷 康隆 〈障害者歯科〉 福留 麗実	立本 行宏 立石 善久 板敷 康隆 清水 基之 〈障害者歯科〉 福留 麗実	嶋本 浩道※8 医師交代 〈障害者歯科〉 鈴木 康男※10 福留 麗実
	午後	板敷 康隆 立石 善久 原 慎吾 清水 基之 〈障害者歯科〉 福留 麗実	立本 行宏 立石 善久 原 慎吾 板敷 康隆 〈障害者歯科〉 福留 麗実	医師交代 〈障害者歯科〉 福留 麗実 〈お口の悩み・口腔腫瘍・ インプラント〉 立本 行宏※9	立本 行宏 立石 善久 原 慎吾 清水 基之 三次 正春	医師交代 〈障害者歯科〉 鈴木 康男※10 福留 麗実

※2 紹介患者さんのみ ※8 第2週、第4週のみ ※9 第4週のみ ※10 第3週は休診の時あり

診療科	区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
婦人科	午前	木下 宏実 脇川 晃子	山本 寄人	林 和俊	木下 宏実※4 南 晋	松本 光弘 山本 寄人
	午後	小松 淳子	上野 晃子 〈婦人科・リンパ浮腫〉 山本 寄人		森田 聡美 〈女性総合〉 木下 宏実	
生殖医療科	午前		南 晋	小松 淳子		
	午後			上野 晃子		
産科	午前	上野 晃子 〈胎児心臓超音波〉 永井 立平	脇川 晃子 〈ハイリスク〉 永井 立平	松本 光弘 上野 晃子	永井 立平 〈ハイリスク〉 林 和俊	小松 淳子 森田 聡美
	午後	〈ハイリスク〉 松本 光弘	木下 宏実		山本 寄人 〈胎児心臓超音波〉 永井 立平	南 晋
小児科	午前	西内 律雄 〈小児発達〉 中田 裕生※13 〈小児循環器〉 三宅 陽一郎	西内 律雄 〈小児循環器〉 今城 沙都	吉川 清志 〈小児発達〉 丸山 秀彦	西内 律雄 金澤 亜錦 〈小児循環器〉 今城 沙都	中田 裕生 〈内分泌・腎臓〉 宮澤 真理※11
	午後	丸山 秀彦 〈内分泌・腎臓〉 宮澤 真理 〈小児循環器〉 今城 沙都 〈予防接種外来〉 瀧上 智帆	所谷 知穂 〈発達〉 金澤 亜錦 〈乳児検診〉 瀧上 智帆	中田 裕生 〈慢性疾患〉 吉川 清志 〈予防接種外来〉 大浦 奈生子	宮澤 真理 〈小児発達〉 中田 裕生 〈小児循環器〉 今城 沙都 〈小児神経〉 所谷 知穂 〈予防接種外来〉 萩野 紘平	金澤 亜錦 〈小児神経〉 所谷 知穂 〈血液・腫瘍〉 西内 律雄 〈予防接種外来〉 吉村恵利子
小児外科	午前			佐々木 潔		
	午後	佐々木 潔		佐々木 潔		

※4 再診のみ ※11 第5週は休診 ※13 予約外来のみ

外来診療時間
午前8時30分から午前12時
午後1時から午後4時30分
(土・日・祝日休診)

原則予約制です。予約外の方は当日来院時に診療予約をおこなってください。
電話での予約は、「かかりつけ医」からの申し込みのみ受け付けています。
問い合わせ先：高知医療センター
高知市池2125-1 TEL:(代)088-837-3000 FAX:(代)088-837-6766

お知らせ

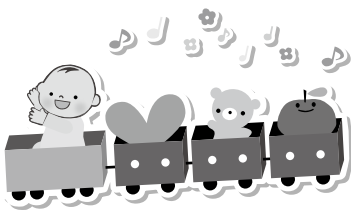
分娩介助料の改定について



高知医療センターは、県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、多数のハイリスク妊娠の分娩を扱い、高度な周産期医療を提供し、県全域からの母体緊急搬送、紹介に対応しています。

このたび、他県の総合周産期母子医療センターなどの状況等を踏まえて、平成27年10月1日から、下記のとおり分娩介助料が改定になりましたので、お知らせします。

今後とも、当センターといたしましては、周産期医療産科部門の要としての機能を維持、発展させ、さらなる周産期医療の充実につなげていきたいと考えていますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



10月1日より
変わりました!!

	～平成27年9月30日	改訂後
時間内	130,000円	160,000円
時間外	150,000円	184,000円

※上記の料金には、産科医療補償制度に係る保険金相当額を含みます。

特殊詐欺ご注意ください!!



「医療費等を返還しますので口座番号を教えてください」や「ATMに行ってください」など、高知医療センターを名乗り電話がかかってくる事例が発生しています。

当院では、お電話で、直接口座番号をお伺いすることやATMの操作をお願いすることはありません。

不審なお電話がかかってきた場合には、最寄の警察署、または高知医療センターまでご連絡ください。



よひよひ

車椅子生活を おくるために ～私の工夫～

当院を受診されている患者さん(以下Aさん)からお手紙をいただきました。

そのお手紙は、Aさんの「一人でも多くの人に知ってもらい、私のように大事に至るような事態にならないようにできたら…」という思いが込められた、Aさんご自身の体験がつづられたものでした。

Aさんの体験、Aさんがご苦勞の末にたどり着いた「車椅子のバランスをとる方法」をご紹介します。

心臓血管外科 三宅 陽一郎

私は脊髄損傷による下半身の麻痺を患って50年になります。

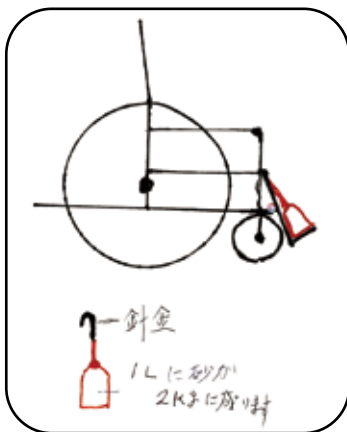
2年ほど前、ある事情から左足の切断を余儀なくされる状況となりました。

左足の切断後、今まで通りの車椅子生活に戻ると、車椅子のバランスが、切断以前と全く違っていることに気づきました。不便さを感じながらもどうしていいかの名案もなく、バランスの悪い状況のまま、何とかやっている、という日々を過ごしていました。

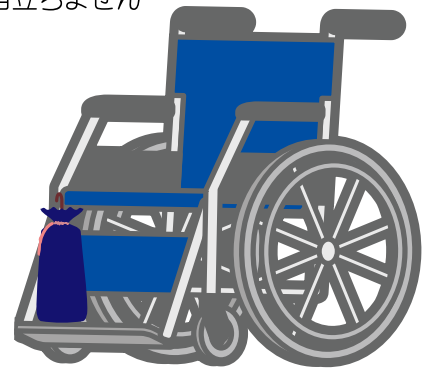
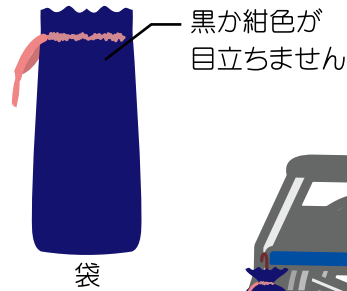
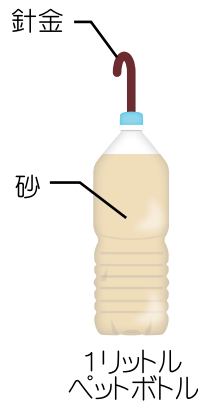
そんなある日、そのバランスの悪い車椅子がうしろに倒れて、頭部を打撲するという事故が起こってしまいました。打撲した頭部は頭蓋内に出血を起こしていました。治療をしてもらい後遺症を残すことはありませんでしたが、あわや一大事に至るところでした。

そこで、また同じ事故が起こるといけないと思い、バランスの悪くなった車椅子を改善すべく試行錯誤を行いました。その結果、車椅子の足を置くべき部分に「重り」を置くことで、バランスが劇的に改善され、下肢切断以前に近い状況で車椅子を操ることができるようになったのです。

試行錯誤を重ねるなか、「重り」についてもいろいろ試しましたが、私の場合、1リットルサイズのペットボトルに砂を入れたものが、丁度よいバランスでした。この砂の入ったペットボトルは重量にすると2kgでした。私の体重は約50kgで、切断した足は6kgでした。ですので、体重50kgで2kgの「重り」が目安になると思います。2kgはペットボトル1リットル分の砂がこれに相当するということです。『コツ』がふたつありますのでご紹介します。



車椅子を横から見た図
イラスト：Aさん



【コツ その1】

重さの微調整です。「重り」が軽いと上り坂が危なくなります。私が経験したようにうしろに転倒しやすくなります。逆に「重り」が重いと逆に下り坂で前のめりになり危険です。目安は上に書いた通りですが、体重などの状況に合わせていろいろ試してみてください。

【コツ その2】

「重り」が車椅子の前輪にあると大変危険ですので、十分注意してください。私の場合、絵のようにペットボトルを袋に入れて針金で吊すようにしつつ、足場に乗せることで固定しています。しかし、どうしてもその位置が前輪に近くなります。やり方によっては位置がずれて前輪に触れてしまうこともありますので入念に確認してください。

みなさんもぜひ参考になさってください



あなたは犬派？ それとも猫派？

外来 竹崎 陽子

「あなたは犬派？それとも猫派？」これはよく聞かれることがある定番の二択ですよね。カリフォルニア大学の研究によると、犬を選ぶ人は、「安定志向」「外交的・社会的」「リスクを避けて冒険をしない」、猫を選ぶ人は、「クリエイティブ」「心配性」「大胆で冒険好き」という特徴があるそうです。あたっていますでしょうか？

私は犬派でもなく、猫派でもなく、生き物全般が苦手です。特に猫に対しては、何を考えているかわからない、気まぐれ、わがまま、目つきが怖いといったマイナスイメージしかありませんでした。こんな私がひよんなことから猫と同居することになり、はや2年がたちました。今回は、そんな私の彼女をご紹介します。

◇彼女との出会い

出会ったころの彼女は、マグカップにおさまるほど小さく、淡いブルーの目をしたかわいい子猫でした。仕事帰りの小雨の降る寒い夜、茂みから「ミャーミャー」と鳴き声が聞こえてきました。おそらく猫だろう、私の代わりに愛の手を差しのべてくれる人はいないかと周囲を見わたしましたが、人っ子ひとり見当たりません。10分ほど人が通りかかるのを待ちましたが誰も通りかかってくれません。意を決し茂みをかき分けてみると予想通り子猫を1匹発見しました。発見したからには、雨に濡れ震えている彼女を放置するわけにもいかず、しょうがなく自宅に連れて帰ることにしまし

た。この出会いが昼間だったら、雨が降っていなかったら、そのまま通り過ぎていたことでしょう。

◇彼女の性格

彼女はキジトラのメス。キジトラは、猫の祖先であるリビアヤマネコと同じ毛色を持っており、最も野生に近い猫といわれています。その性格は、野性味たっぷりやんちゃな性格が多いようです。子猫の時の彼女は、2時間寝て2時間遊ぶというサイクルを繰り返していました。起きているときは、部屋中を走り回り、私の手で遊ぶことに夢中でした。おかげで睡眠不足と、手には引っ掻き傷が絶えませんでした。

大人になった彼女は、今でも私の手を見ると興奮し執拗に噛みついてきます。大人になった彼女の噛みつく力は相当なもので強烈な痛みを伴います。もしかして嫌われているのでは？と不安になった私は、インターネットで「猫 手 攻撃」と検索をしてみました。すると、「手をおもちゃにしてじゃれさせてはいけない」という記事を見つけました。子供のころから飼い主の手でじゃれつかせる様な遊び方をすると、手をおもちゃとして認識し、噛みついたり引っ掻いたりする癖がつくようです。大人になった彼女は、私の手をおもちゃだと認識し遊んでいたのです。彼女と出会って2年…2年間の無知を大変反省しましたが手遅れでした。まだ間に合う方は、手で遊ばないようご注意ください。



◇彼女と湿布

猫が好きなにおいと言えば「またたび」が有名です。ある日、腕が筋肉痛になった私は市販の湿布を貼っていました。すると、彼女が執拗ににおいを嗅いできます。そして何かにとりつかれたかのように全力で噛みついてきました。引き離しても、引き離しても噛みついてきます。そこでまたまた不安になった私は、インターネットで「猫 湿布

狂暴化」と検索したところ、「湿布を使っていたら猫が死んだ」という記事を発見しました。その記事によるとアメリカでフルルピプロフェンという成分を使っている製品で3匹が亡くなったそうです。2015年4月FDA(アメリカ食品医薬品局)が、「筋肉痛や関節痛などの治療のために外用薬を使っている人は、ペットの健康に注意してほしい」という注意情報を発したそうです。もしかしたら彼女は「私がいるのに湿布を使うとは何事か!」とお怒りになったのかもしれませんが。それ以降、我が家では湿布の使用は禁止です。湿布を使用される方は、ペットが誤って口にしないようご注意ください。

◇彼女と避妊手術

避妊手術は日帰りが主流となっており、手術をしている様子を窓越しに見学できる施設が増えています。彼女も8か月のころ、避妊手術を受けました。麻酔からの目覚めが遅くドキドキさせられましたが、無事その日の夕方に自宅に戻ることが

できました。手術の後には、キズを保護するためエリザベスカラーを装着すると思っていましたが、キズの上から被膜材のようなスプレーを噴霧されただけでした。見えない膜でキズを保護し、ペットが舐めても無害だそうです。自宅に戻った彼女は、水を飲むのがやっとでグッタリとしていましたが、2日目からは元気に走り回っていました。手術後にぐったりしている彼女を見ていると、動物を飼うということは命を預かることであり、飼い主として大きな責任があるのだと感じました。愛情はもちろん必要ですが、「かわいい」「かわいそう」という気持ちだけでは生き物は飼えません。ファッションや流行、思い込みや擬人化ではなく、自分が最後まで責任をもって飼えるのか、飼いはじめる前によく考えましょう。

◇彼女とこれから

犬と違って猫は、人間に頼らなくても生きていけるイメージを持っていました。しかし、彼女と同居してみると、猫は意外と表情が豊かで、さびしんぼうで、甘えん坊で、大変臆病で、魅力的な生き物でした。しょうがなく始まった同居生活でしたが、今では彼女に出会えてよかったと思っています。今の私が「あなたは犬派?それとも猫派?」と聞かれたら「猫派」と答えるでしょう。みなさんは何派でしょうか?

院内行事

●救命救急センター Xmas イベント ドクターヘリ見学会

昨年12月23日(水・祝)、高知医療センター 地上ヘリポートにて、救命救急センター Xmas イベント ドクターヘリ見学会が開催されました。当日は強い雨にも関わらず、300名を超える方々にご来場いただきました。特別ゲストの「くろしおくん」は子供たちに大人気。「お楽しみ抽選会」「搭乗証明交付」も大好評でした。



こころ 第28号

高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター広報誌

〒781-8555
高知市池 2125 番地 1 高知医療センター
TEL 088-837-3000 FAX 088-837-6766

発行 平成 28 年 2 月 29 日
発行者 吉川 清志
題字 佐藤 光峰
編集 高知医療センター広報委員会
印刷 株式会社 高陽堂印刷